

平成 26 年度市立砺波総合病院経営改善委員会の開催について

「市立砺波総合病院経営改善委員会」を開催し、経営状況等の点検及び評価を行いましたので公表します。

市立砺波総合病院では、砺波医療圏の中核病院として安全・安心・良質な医療の提供と、健全経営をめざし安定かつ継続的な経営改革への取り組みを目標とし、市立砺波総合病院中長期計画（後期計画）（計画期間平成26年度から30年度）を策定し、この計画に基づく経営状況を点検及び評価を行うため、市立砺波総合病院経営改善委員会（以下「経営改善委員会」という。）を設置しております。

経営改善委員会は、医療関係者のほか、経済界、市民団体、行政等の様々な専門分野の委員8名で組織されており、市立砺波総合病院の経営改善に関する事項等について点検及び評価いたしております。委員の皆さんは次のとおりです。

要綱に基づく区分	役 職	氏 名
医療政策に指導的立場に立つ医療関係者	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科長 医薬保健研究域医学系長	金子 周一
砺波医療圏における医師又は看護師等が組織する団体の代表者	砺波医師会会長	金井 正信
市民が組織する団体の代表者	砺波市自治振興会協議会会長	水木 忠明
	砺波市連合婦人会会長	岡部 紀子
その他学識経験を有する者	砺波商工会議所会頭	大島 肇一
	税理士	水木 保男
行政関係者	富山県砺波厚生センター所長	大江 浩
	砺波市副市長	齊藤 一夫

市立砺波総合病院経営改善委員会の開催の概要は次のとおりです。

- (1) 日 時 平成26年11月14日(金) 午後4時より午後5時40分
- (2) 場 所 市立砺波総合病院南棟2階第1会議室
- (3) 出席委員 経営改善委員会委員8名
- (4) 委員長の互選 金子周一委員を委員長に互選
- (5) 協議事項
① 経営改善の取組み

- ② 平成25年度経営状況について
- ③ 平成26年度（上半期）経営状況について
- ④ 収支の見通しについて

主な報告内容

① 経営改善の取組みの報告

「砺波医療圏の中核病院として安心・安全・良質な医療の提供」について

- (1) 開かれた病院づくり
- (2) 医療の質の向上
- (3) 医療連携
- (4) 情報化の推進と教育・研修の充実
- (5) 災害医療体制の強化

「健全経営をめざし安定かつ継続的な経営改革への取組み」について

- (1) 収益の確保
- (2) 一般会計繰入金の適正化
- (3) 医師・看護師の確保
- (4) 費用の節減等
- (5) 適正な職員配置

委員からの主な意見

- ・市立砺波総合病院の強化は砺波医療圏全体の問題であるとの認識に立って経営されたい。
- ・診療報酬改定に対応し、安定的な収益を確保し経営維持に努められたい。
- ・患者満足度調査を継続し、満足度の向上に努められたい。
- ・病院経営形態について、地方公営企業法全部適用や独立行政法人化を含め検討されたい。

② 平成25年度経営状況について

決算状況の報告

委員からの主な意見

- ・患者数の減少が及ぼす影響を懸念している。

③ 平成26年度（上半期）の経営状況について

上半期の経営状況の報告

委員からの主な意見

- ・病院全体で医業収支比率を改善する工夫を検討されたい。

④ 今後の収支の見通しについて

平成30年度までの収支見通し

委員からの主な意見

- ・収支見通しにおいて、病床利用率 80%以上の達成は厳しいと思われるため、医療の質の向上を通じた診療単価の向上について検討されたい。
- ・高齢化社会や地域性の観点から、常勤の呼吸器科専門医の確保が求められる。
- ・少子高齢化、人口減少時代に適応した経営戦略を検討されたい。